

学力向上に係る効果的事例

「個人カード」を活用した個に応じた指導の充実

【東部教育事務所】

- 1 学校、学年、教科 小学校、全学年、国語・算数
- 2 ねらい 学級担任が児童の学力の実態を把握し、個に応じた指導の充実を進める。

3 取組内容

● 「個人カード」を活用した個に応じた指導の充実

本校では、教育に関する3つの達成目標「学力」達成目標（読む・書く・計算）をもとに、「個人カード」作成し、児童一人一人の学力を把握し、個に応じた指導を推進している。

各学年でどの程度到達目標が達成できたかを、「個人カード評価のてびき」をもとにチェックし、個別指導に役立てる。また「個人カード」は、次学年に申し送る。

次学年の担当は、全学年までに達成できない項目に着目し、基礎学力が定着できるように支援する。

基礎学力到達目標達成 【計算】 個人カード							
氏名						氏名	
到達目標		1年	2年	3年	4年	5年	6年
一 年	① 10のまとまりを見つけたり、10のいくつ分かを求めることができる						
	② 100までのかずについて、順に並べたり、大小をくらべたりすることができる						
	③ (1けた) + (1けた) のたし算ができる						
	④ (十いくつ) - (1けた) までのひき算ができる						
	⑤ 「ながさくらべ」ができる						
二 年	① 10000までの数の表し方やしくみがわかる						
	② 2けたの足し算と、3けたのまでのひき算がひっ算でできる						
	③ かけ算九九ができる						

【計算】個人カード

基礎学力到達目標達成 【読む】 個人カード							
氏名						氏名	
到達目標		学 年					
		1	2	3	4	5	6
一 年 ・ 二 年	① 書いてあることを、順序に気をつけて読むことができる ※ 順序を表す言葉に気をつけて読む やがて、 ~になるころから、 冬の間に						
	② ひとまとまりの語や文として、はっきりした声で読むことができる。 ※ 口の形や声の大きさに気をつけて読む ※ 点(・)や丸(。)に気をつける						
	③ ひらがな(46字+25字+36字)とかたかな(46字+25字+36字)が読める						
	1年生で学習する漢字(80字)が読める						
	2年生で学習する漢字(160字)が読める						

【読む】個人カード

五・六年

(到達目標①・②)

一 文章全体から、書き手の述べたいことを読み取ることができる。

※接続語や言葉の使い方、文末などの表現に気をつけて読む

五年 例文

(「サクラソウとトラマルハナバチ」)

サクラソウを①知っていますか。サクラソウは、その名のとおり、サクラに似たピンクの花をさかせる小さい草です。……②ところが、野原や林が牧場や畑やゴルフ場に替えられていくにつれて、……③どうして、こんなことになってしまったのでしょうか。……

サクラソウがタネをまらせるためには、トラマルハナバチがいなければなりません。トラマルハナバチが生きていくためには、サクラソウはもちろん、その他の花々、④またネズミがいなければなりません。……⑤このように、生き物はみなつながり合っているのです。⑥つまり、サクラソウを絶滅から守るためには、サクラソウだけを保護するのでは不十分です。おたがいにつながり合っている生き物たちの全体を守っていかなければならない⑦のです。

※①③… 問いかけの文章に線を引くことができる。

⑦… 「～のです。」に着目して筆者の強調したいことがわかる。

②… 逆接の接続詞がわかる。

④⑤④②… 並列の接続詞がわかる。

③… 「このように」が何を指すのか、説明できる。

⑥⑤④②… 「つまり」以降は筆者の結論が書かれていると言うことがわかる。

六年 例文

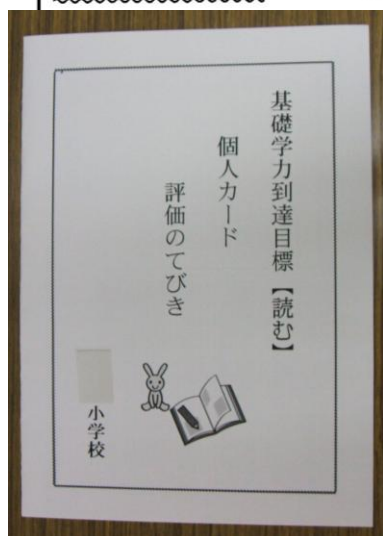
(「生き物はつながりの中に」)

イヌ型ロボットを①知っていますか。生き物であるイヌの様子をよく観察して、そっくりな動きをするように工夫して作ってあります。……ロボットは本物のイヌとはちがいます。②どこ……

③あなたは生き物です。④だから、たくさんのつながりをもっています。……過去や未来ともつながっています。あなたは、今日もあなたであり、明日もあなたであり続ける、たった一つのかげがえ

の…が…の…
ない…
大切…
て…
て…
き…
か…

【読む】評価のてびき 5, 6年



「個人カード 評価のてびき」

4 成果と課題

個人カードの取組を始めることによって、各担任が児童の学習状況をより具体的に把握できるようになり、指導方法や個別支援の方法が変わってきた。

3つの達成目標検証テストや埼玉県学習状況調査において、取組の成果が表れてきている。特に計算において成果が顕著であった。

今年度は、保護者にも「個人カード」を配布した。今後、家庭学習定着の取組も含め、保護者との連携を深めていきたい。